

# 情産協NEWS

## CONTENTS

### 情報化シンポジウム広島'16 ～IT融合による地域イノベーション～ 特集

- 新年のごあいさつ……………01
- 情報化シンポジウム広島'16  
～IT融合による地域イノベーション～…03
- 第20回 HiBiSインターネット  
ビジネスフォーラム2016……………07
- セキュリティ・ミニキャンプ  
in 中国2016(広島)……………08
- HIA海外視察……………09
- 第2回技術セミナー  
カーブ観戦イベント……………10
- 事務局からのお知らせ……………11



大きな変化の中心に位置する  
私たちの使命とその責務

# 接

2017.1  
NO.77



# 新年のごあいさつ

皆様、明けましておめでとうございます。

皆様には、日頃より広島県下の情報通信産業・情報サービス業の発展と協会活動に特段のご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年は「AI」、「IoT」、「ディープラーニング」、「シンギュラリティ」といった言葉が、身近に感じられ始めた年でした。まさに「第四次産業革命」とも言うべきAI・IoTによる新時代の到来であり、このITによる様々なサービスが全ての地域、産業、人々の営みに深く関わり、より激しく進化しつつあることを改めて認識させられました。

この大きな変化の中心に位置する私たちの使命とその責務は、より広範で重いものになってきたのではないのでしょうか。本年はさらに、世の中の変化に対して臨機に適応できているのか、新しい価値を生み出しITサービスによって社会や顧客に貢献できているのか、その真価が問われる年になるのではないかと考えております。

当協会は平成24年度に中長期ビジョンを定めました。その中で協会のミッションとして「会員企業の高収益型事業体質の実現を支援する」ことを掲げ、この実現のために各委員会・部会が積極的に課題に取り組んでおります。

そのような中、昨年10月に「情報化シンポジウム広島'16」を開催いたしました。お陰様で10の講演セミナーと交流会はどれも100名～200名の多くの皆様のご参加を頂きました。基調講演では日本アイ・ピー・エム(株)の福田氏、特別講演ではグーグル(株)の大須賀氏によるAI関連の最新動向とAI活用の可能性についてご講演頂きました。イベントを通して語られたのは、AI、クラウド、フィンテック、ウェアラブル、IoT、ビッグデータをキーワードとしたITによる産業・社会のイノベーションでした。新しい技術を経営戦略や事業改革にどう生かしていくべきか、地域IT産業の役割として、地域の様々な業界においてイノベーションの実現を目指すことの重要性を改めて認識いたしました。

そして本年は、西日本最大級のITイベント「ひろしまIT総合展2017」の開催の年です。私たちはこれまで昭和63年から隔年でこのような大規模IT展示会を広島で開催して参りました。これまで開催してきたその実績とノウハウを生かし、IT分野の様々な先端技術や魅力的なサービスを多くの人々に紹介し、IT提供者サイドとIT利用者サイドとの接点や、活発な商談機会を提供することにより、会員企業のビジネスの発展と広島地域の経済活性化に貢献していきたいと考えております。何卒ご参加、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

当協会では引き続き会員の皆様の一助となるべく、精力的に活動していく所存でございます。引き続きご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしく実りある年でありますことを祈念して、新春のご挨拶とさせていただきます。

平成29年元旦



HIA 一般社団法人  
広島県情報産業協会  
会長 有馬 猛夫

明けましておめでとうございます。

皆様方には、すがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、本県行政の推進に当たりましては、日ごろから多大な御支援、御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年、貴協会におかれましては、「IT融合による地域イノベーション」をテーマに、「情報化シンポジウム広島'16」を開催されたところですが、期間中の多数の来場者数が示すとおり、IoT、クラウド、AIなど、情報分野における新たな技術が今後の私たちの生活をいかに変えていくかということについての人々の関心は非常に高くなっております。こうしたことから、IT技術による産業・生活のイノベーションの促進について、貴協会の果たす役割がますます大きくなるものと期待されています。

現在、本県では、概ね平成32年度を展望して策定した総合計画「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、「新たな経済成長」を重要な政策の柱の1つとして、創業しやすい環境づくりやイノベーションを生み出す多彩な産業人材の育成、集積に取り組み、多様な人材の幅広いネットワークのもと新たなアイデアや価値が創造され、新たな事業が次々と生まれるイノベーション・エコシステムの形成を推し進めているところであります。

情報通信分野では、広島県と広島市が共同して運営しております「ひろしまIT融合フォーラム」の研究会活動への支援などを通じ、サービス業等の異分野の産業におけるIT技術を取り入れた新ビジネスの創出や、オープンデータ・ビッグデータを活用した事業展開の促進など、IT融合ビジネスの創出に取り組んでおります。

今後とも貴協会の皆様と連携を図りながら、こうしたIT融合の取組を拡充・強化することにより、ITを核とした広島発のビジネスモデルの創出に取り組んで参りたいと考えております。

どうか、皆様におかれましては、本県産業のイノベーション創出や情報関連産業の発展、ひいては、地域の発展に向けて、今後ともより一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

新年の門出に当たり、貴協会と会員の皆様のますますの御発展と御多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



広島県知事  
湯崎英彦

## 平成29年 新年講演会及び賀詞交歓会のご案内

新春を迎え、新年講演会並びに賀詞交歓会を開催いたしたいと存じます。  
新年早々でご多忙のことと存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 開催日／平成29年1月17日(火)
- 場 所／リーガロイヤルホテル広島3階

### 1. 新年講演会 (音戸の間)

- 時 間／16:00～17:30
- 講 師／八丁座館主(株式会社序破急 代表取締役社長)  
蔵本 順子氏
- 演 題／「わたしの映画人生」



### 2. 賀詞交歓会 (宮島の間)

- 時 間／18:00～19:30 お申し込みは、E-mail:jim@hia.or.jpまで





## 情報化シンポジウム広島'16 ～IT融合による地域イノベーション～

■開催期間／2016年10月19日(水)～21日(金)

■会場／広島県情報プラザ第一・二研修室、多目的ホール

情報化シンポジウム広島'16は、メインテーマを「IT融合による地域イノベーション」と題しITによるイノベーションの牽引を目的に、ITを中核技術としたイノベーションの可能性について、様々な視点での講演会・シンポジウムを開催いたしました。

本イベントは今回で15回目を迎え、AI、クラウド、IoT、ビッグデータ、フィンテック、ウェアラブル、といった新しい技術とその活用について情報発信いたしました。どの講演も多くの来場者を得、盛況裡に終えることが来ました。

講演、パネルディスカッションの要旨(一部)を下記にて紹介いたします。

基調講演 日時:2016年10月19日(水)13:30～14:30

### 「コグニティブ・システムが描く未来 –IBM Watson最新情報–」

講師 日本アイ・ピー・エム株式会社 理事 東京基礎研究所 所長

福田 剛志 氏

<略歴>1991年日本アイ・ピー・エム(株)入社。2015年5月より東京基礎研究所所長。現在、所長としてコグニティブ・コンピューティング、ロボティクス、数理科学、ニューロモフィックデバイス等の研究をリードする。



IoT、ビッグデータ、人工知能が実証実験の段階から事業化の段階に来ている。①コンピュータシステムの進化(計算機の時代～プログラムで動くシステムの時代～コグニティブ・システムの時代)、②Watsonの紹介、③コグニティブ・システムに関するIBM社の先進技術 をわかりやすく紹介。

コグニティブ・システムの特徴は、人間がプログラムを書くのではなく、事例からコンピュータが学習してプログラムを作る点である。これにより、全ての仕様をプログラム言語化することができない処理をコンピュータシステムで行うことが可能となった。Watsonは特に自然言語処理に優れており、クイズ番組 Jeopardy!でクイズ王に勝利したことは、2011年当時大きな話題となった。この能力を活かして、医療、カスタマーケア、コールセンターなどで、Watsonの適用事例が増えている。Watsonの機能は IBM Watson Developer Cloud でサービス提供されており、これから一層活用が加速するだろう。

また、先進的な取り組みとして下記3点の紹介があった。新たなビジネス創出、またそれを根拠にした地域活性化のイネーブラーとして早期実用化が期待される。

#### ロボティクス

人型ロボット。Pepperが銀行窓口業務を行う。情報連携の正確さ、複数言語で対応できる点が人間に勝る。現時点では音声の聞き取り精度が悪いなど課題はあるが、近い将来に実用化されそうである。

#### アクセシビリティ

Watsonが周囲を認識して全盲の方の助けをする。周囲の情報(障害物、接近してくる人など)を骨伝導スピーカで伝える。

#### ニューロモフィック・コンピューティング

脳を模したコンピュータで低消費電力、低容量を実現できる技術。(参考:Jeopardy!で勝利したコンピュータのサイズは10ラック。容量、消費電力ともに人間の脳に比べてとても大きい)。2011年 ニューロモフィックチップを開発済みであり、今後小型化が進めば監視カメラやリモートセンサーへの活用が期待される。



特別講演 日時:2016年10月19日(水)14:40~15:40

## 「Googleの考える人工知能(AI)時代に 対応した地域を活性化するテクノロジーの活かし方」



講師 グーグル株式会社 Google Cloud 営業本部長  
大須賀 利一 氏

<略歴>Google のビジネス向け製品サービスを展開する Google のエンタープライズ部門で、日本での活動の立ち上げに関わる。現在は Google 日本法人で G Suiteの営業活動を統括。

Googleの強みは、スケールの大きさである。検索は月に1,000億回、「YouTube」は1分間に300時間分のアップデート、「Google Map」「Gmail」等の他サービスも、世界で10億人以上のアクティブユーザーが存在する。これらのスケールには経済面・実行性のメリットがある。Googleのコンピュータ類の調達力は世界有数でお客様に対して経済的なメリットになる。また、「ポケモンGO」のような、成功するかわからないサービスを試すこともでき、機会損失を避けることにもつながる。

最近GoogleのCEOは、「モバイルファーストからAIファーストへ」を掲げている。これは、すべての人の働き方を劇的に変えることができる。その裏側にあるのは、ディープラーニング・機械学習という技術・手法である。それらは、「AlphaGo」による囲碁のトップランクの棋士への勝利、「Gmail」の迷惑メールのフィルタリング、「TensorFlow」による農業での野菜の仕分けなどに利用されている。

また、これらは企業・自治体でも情報共有・コミュニケーション等のツールとして利用されており、業務に変化をもたらしている。しかし、企業にとって変化は文化や習慣等の大きな障壁がある。そこでGoogleが提案しているのが、「チェンジマネジメント」である。

「チェンジマネジメント」とは人に焦点を当て、変化をうまく管理することで、プロジェクトを成功させるフレームワークである。これは「トップのサポート」「社員を知る」「コミュニケーション」「教育」の4つの柱から成り立っている。

人間は変化を恐れる。そのため、トップがなぜ変化しなければならないかのメッセージを伝える「トップのサポート」が必要である。また、社員の思いや課題等「社員を知る」ことが必要で、それには適切な「コミュニケーション」が必要となる。最後に会社は変化するための「教育」の支援を用意するということが重要である。「チェンジマネジメント」の極意は「軸となるゴール」「社員を巻き込む」「小さくて大きな一歩」である。



## 「クラウド活用による地域活性化」

パネ  
リスト

株式会社セールスフォース・ドットコム 執行役員 地域創生グループ本部長

**安田 大佑 氏**

<略歴>2000年DELL入社 シニアマネージャー。2008年MarketStar Corporation 日本代表に着任。2010年メッセーシラボ(現シマンテック)コーポレートセールス シニアマネージャー。2011年にセールスフォース・ドットコムに入社以来、主に首都圏以外の地域を担当する広域部門をリードする。

サイボウズ株式会社 社長室 フェロー

**野水 克也 氏**

<略歴>34歳でサイボウズへ入社。主に中小企業市場を担当し、広告宣伝担当、営業マネージャー、営業戦略担当、製品責任者、マーケティング部長を経て現職。内閣官房IT戦略会議「オープンデータ利活用」WVG構成員。一般社団法人クラウド活用・地域ICT投資促進協議会理事。

LINE株式会社 ビジネスプラットフォーム 事業室 戦略企画ディレクター

**砂金 信一郎 氏**

<略歴>前職マイクロソフトではクラウド黎明期からMicrosoft Azureの技術啓蒙を担当。現在はLINE株式会社ビジネスプラットフォーム事業室において、AIやbot、Beaconなどを広く普及させる戦略企画を担当。

モデ  
レータ

ひろしまIT融合フォーラム会長 広島市立大学大学院 情報科学研究科 情報工学専攻 教授

**前田 香織 先生**

<略歴>2007年より広島市立大学大学院 情報科学研究科教授。2013年より同大附属図書館長。博士(情報工学)。研究テーマはマルチメディア通信応用、移動透過通信インターネット運用管理技術。平成24年度科学技術分野文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)等受賞。



安田 大佑 氏



野水 克也 氏



砂金 信一郎 氏



前田 香織 先生

パネリスト各氏より農業、地域医療、被災地支援、観光、インバウンドなど多岐にわたる分野での事例紹介があり、成功のポイント、課題、対応策等について意見交換を行った。

**砂金** AIの活用が重要である。データ分析へのAI活用もある。地域活性化もこれからは必ずグローバルターゲットになるが、言葉の壁を突破するにもAIによる機械翻訳を採用することが重要になる。

**野水** みんなで一緒にずっとやり続けることがポイントである。つまりリモートワークという形態も含めてできるだけたくさんの人を巻き込んで、ずっと改良し続けるという形に事業形態を変えられるかどうか成功のカギである。地方でもクラウドを使って働き方を工夫すれば労働力はいくらでも生まれる。

**安田** まずは情報を共有することが重要である。日本人はコミュニケーションを丁寧にやりすぎる傾向があって生産性が低い。情報共有の仕組みを導入するだけで生産性向上につながる。

## 「FinTechによる地方創生・地域活性化」

講師

TMI総合法律事務所 弁護士

**北島 隆次 氏**

<略歴>2012年弁護士登録後現職。法律事務所初のFinTechデスクを立ち上げ、現在はFinTechの金融及び他分野への教育・コンサルティング、リーガルアドバイス、新サービスの提案等に従事。



「金融」と「IT」の融合といわれるFinTechについて、特に地方創生・地域活性化という観点に焦点をあて説明。地方創生のキーポイントは、キャッシュを産み出す事業を作り出すことである。FinTechの視点から「事業」と「人」を考えると、まず、「事業」の面では、キャッシュを産み出す仕組みづくりが必要である。また、「人」の面からは、事業を成功させるのは、「人」(起業家)とそれを支えるチームであり、地域に「人」を呼び込む仕組みづくりが必要である。



IT融合による地域イノベーションセミナー 日時:2016年10月20日(木)14:10~15:10

## 「人工知能ビジネス最前線 ~AIが起こす新産業革命~」

講師

日本経済新聞社 デジタルメディア局 シニアコンサルタント

大石 聡 氏

<略歴>1982年日本経済新聞社入社。2004年から企画、販促、営業を担当。2015年より現職、現在は日経テレコンなどのサービスへの各種コンテンツ追加の企画と交渉、テキストマイニングを利用した新規事業企画を担当。



本セミナーでは、AIを活用したさまざまなビジネス事例を新聞報道から探り、AIが既存産業や事業に及ぼす影響、従来のビジネスモデルを置き換えていく様子などを紹介。データベースに収録されている230万件を超える記事を、AIのキーワードとともにひも解くと、AIに関連する掲載記事数上位に、1987年では富士通、日立、ゼロックス、日本鋼管などが並ぶ。一方で2016年ではトヨタ、ホンダ、日産、GM、フォードといった自動車のほか、ベンチャー企業が数多く登場する。このことはAIの利活用が、中小企業やベンチャーにとっても大きなビジネスチャンスになることを示している。

IT融合による地域イノベーションセミナー 日時:2016年10月20日(木)15:20~16:20

## 「グンゼ「衣料型ウェアラブルシステム」で体の状態が見える化」

講師

グンゼ株式会社 新規事業推進室 室長

永井 義之 氏

<略歴>1993年グンゼ株式会社入社。営業・マーケティングに携わり、3年前から経営戦略部 経営戦略室で新規事業を担当。グループ長を経て2016年4月に新規事業推進室が新設され初代室長として就任。



既存事業の技術やノウハウの組合せにより「快適性のある電子部品」という新規コンセプトから生まれた「衣料型ウェアラブルシステム」の開発に至った経緯や現在の取り組みについて紹介。

「衣料型ウェアラブルシステム」とは専用の衣類を着るだけで、姿勢・消費カロリー・心拍などが測定可能であり、測定データをスマートフォン経由で、NECクラウド上に蓄積する。蓄積されたデータを専用のアプリケーションにより、自身の生態情報を分かりやすく確認する事が可能となる。

IT融合による地域イノベーションセミナー 日時:2016年10月20日(木)16:30~17:30

## 「クルマの進化に伴い電子制御システム構築に必要な取り組み」

講師

マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 副本部長

山崎 雅史 氏

<略歴>1986年マツダ株式会社入社。2007年車両システム開発部電子制御ユニット開発Gr担当 マネージャー。2010年車両開発本部電子開発部担当部長を経て2015年4月より現職。



現代における自動車のシステムについて社会の情勢を踏まえた今後の動きを説明。

高齢化する社会で車を使う必要がある社会を前提に、今後の自動車の技術をどのように実現していくかを考えていく必要がある。マツダでは、運転を通じて、老化を防止するような取り組みを行っている。車は移動手段だけでなく、楽しく運転することを第一にしている。

また、自動車のみならず、車を製造するラインの制御システムについても同様にセキュリティが課題となってきている。自動車業界全体として、セキュリティに対する標準化が遅れている。今後の制御システムは、自動車メーカーだけでなく、サプライヤーを含め全てを考慮したシステムを全体的に考えていく必要がある。

## 第20回 HiBiSインターネットビジネスフォーラム2016

■開催日／2016年10月21日(金)  
■会場／広島県情報プラザB1 多目的ホール

今回で20回を数える本イベントは、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)様と、一般社団法人テレコムサービス協会(テレサ協)様とのダブル共催により開催しました。前回と同様、学生の部と企業の部に分かれて、それぞれ応募されたビジネス事例の中から、予め選ばれた数件の優秀ビジネス事例を当日会場で発表いただき、各賞を選出いたしました。



審査員による厳正な審査の結果、学生の部、企業の部でそれぞれ以下の団体・企業が受賞されました。

### 「ビジネス事例発表会 学生が考えるICTを活用したビジネス事例発表」

総務省中国総合通信局長賞

演題:「オリジナル教材を用いた、広島県初小中高生対象のプログラミングスクール TechChance の拡大」

団体名 広島大学大学院 工学研究科／広島大学 工学部／広島工業大学 情報学部

テレコムサービス協会ICTビジネス研究会キャンパス賞

演題:「PET PEPPER ANIMAUX」

団体名 安田女子大学 現代ビジネス学部

アイ・オー・データ賞(協賛社賞)

演題:「先生どこだ? ~学内(社内も可)居場所検索アプリ~」

団体名 安田女子大学 現代ビジネス学部

### 「ビジネス事例発表会 中国地域におけるICTを活用したビジネス事例発表」

総務省中国総合通信局長賞・NICT賞

演題:「Coach For All(CFA)」

団体名 広島大学産学・地域連携センター

テレコムサービス協会中国支部会長賞

演題:「マップ+レイヤー構造による情報共感サービス「地図話(Mappin-Talk)」」

団体名 株式会社デイ・ディライト／株式会社ユーステーブル

### ひろしまIT総合展2017(仮称)開催のご案内

今年は2年に1度の広島県情報産業協会が主体で運営する西日本最大級の総合展示会を開催する年となります。皆様のご出展を是非ご検討ください。

- 名 称／ひろしまIT総合展2017(仮称)
- 開催期間／平成29年10月25日(水)～27日(金)
- 開催会場／【展示・セミナー】.....広島県立広島産業会館西展示館  
【基調講演・セミナー】.....広島市南区民文化センター
- 入 場 料／無 料

お問合せ先  
ひろしまIT総合展2017(仮称)事務局 TEL:082-242-7408 または E-mail:expo-jim@hia.or.jp



## セキュリティ・ミニキャンプin中国2016(広島)

■開催期間／2016年9月23日(金)～25日(日)

■会場／サテライトキャンパスひろしま

若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘と育成を目的に実施している「セキュリティ・キャンプ(全国大会)<sup>※1</sup>」において、より若年層となる中学生を対象に、セキュリティ・ミニキャンプを以下の通り、広島インターネットビジネスソサイエティ(HiBiS)、情報処理推進機構(IPA)様と共同開催しました。

※1「セキュリティ・キャンプ(全国大会)」とは、経済産業省共催、文部科学省後援のもと、セキュリティ・キャンプ実施協議会と独立行政法人情報処理推進機構が実施する、22歳以下の学生・生徒を対象としたコンピュータセキュリティを学ぶ合宿形式の講習会です。

### ■ 9月23日(金) 一般講座

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00～13:10 | <b>「開会挨拶」</b><br>広島大学 副理事(情報担当) 情報メディア教育研究センター長 教授 <b>相原 玲二 氏</b>              |
| 13:10～14:00 | <b>「サイバー犯罪の最新動向(広島の現状)」</b><br>広島県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 警部 <b>渋下 剛 氏</b>        |
| 14:10～15:00 | <b>「そうだ!セキュリティ・キャンプへ行こう」</b><br>セキュリティ・キャンプ 講師 WG主査 <b>上野 宣 氏</b>              |
| 15:10～16:00 | <b>「個人の身近に迫る情報セキュリティ脅威」</b><br>(独)情報処理推進機構(IPA)技術本部セキュリティセンター <b>加賀谷 伸一郎 氏</b> |
| 16:10～17:00 | <b>「大学の情報ネットワークシステムとセキュリティ」</b><br>県立広島大学 経営情報学部 准教授 <b>佐々木 宣介 氏</b>           |
| 17:00～17:10 | クローージング  |

### ■ 9月24日(土)・25日(日) 専門講座

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00～16:00 | <b>「車載LAN上を流れるメッセージの解析」</b><br>広島市立大学 大学院情報科学研究科 情報工学専攻 准教授 <b>井上 博之 氏</b> |
| 16:10～16:50 | <b>「ライトニングトーク」</b><br>広島県警察本部、トレンドマイクロ                                     |
| 10:00～12:20 | <b>「OSSを読もう! -HeartBleed編」</b><br>セキュリティ・キャンプ <b>中矢 講師</b>                 |
| 13:20～15:40 | <b>「マルウェア解析(基礎)」</b><br>セキュリティ・キャンプ <b>濱本 講師</b>                           |
| 15:40～16:00 | クローージング  |



広島大学 副理事 相原 玲二 様  
セキュリティ・ミニキャンプ広島 開会挨拶



専門講座終わりました!お疲れ様でした!



## HIA海外視察

■視察日／2016年11月2日(水)～6日(日)

■視察先／北京市内の日系企業

中国経済は、現在でも6～7%の経済成長率を維持しており、国を挙げ国際社会の先進国と肩を並べて猛進しているのがよく分かりました。2008年北京オリンピックを機に、ビル・道路や通信網といったインフラ面は驚くほど近代化されており、ソフトウェア面でも日本よりも新技術は急速に広まっています。都市ではモバイル端末があれば何でも出来るほどの便利さを目の当りにし、中国の圧倒的な底力を大いに感じさせられました。ただ、経済成長が著しい故に国内の大気汚染の問題も大きく、今回の視察の中でも実際にPM2.5で高速道路が閉鎖となり、デンソー天津工場様を訪問する事が出来ず、皆様にはご迷惑をおかけしました。

中国は急速な経済発展を遂げた都市部、経済格差の残る農村部、歴史的にも貴重な観光資源が同じ時代に併存する、一度はぜひ訪れてみたいアジアの大国であると感じました。

(国際委員長 所感)

	視 察 先	備 考
1	ルネサスエレクトロニクス北京工場	ルネサスエレクトロニクスの中国事業紹介
2	日立(中国)有限公司	日立の中国事業紹介
3	日立(中国)研究開発有限公司	日立の中国での研究開発事業の紹介
4	デンソー天津工場	PM2.5による高速道路封鎖の為、中止
5	NEC(中国)	NEC事業紹介、ショールーム見学



会議室でのプレゼン風景



臨む北京市内



天安門広場



## 第2回技術セミナー「ゼロから作るIoT連携サービス(ハンズオン)」

■開催日／2016年11月12日(土) 10:00～17:00

■会場／サテライトキャンパスひろしま 小会議室(603)

近年、センサーなどの装置がインターネットに直接つながるIoT(Internet of Things)技術が注目を集めています。

今回のセミナーでは、講師に広島市立大学の井上博之准教授を迎え、IoT技術とその応用について習得するため、Raspberry Piとセンサーで作ったIoTデバイスを、クラウドサービスに連携させるシステムをハンズオン形式で構築いたしました。

当日は満席で、受講者の方々は終始集中して取り組み、時間が経つのが早く感じました。

また、アンケート結果は、92%が「満足」(「やや満足」も含めると100%が満足)と回答しており、自由回答欄には「また参加したい」「楽しかった」の声を複数いただきました。今回のセミナーは受講者にとって有意義なセミナーになったものと思います。

(技術委員長 所感)



## カープ観戦イベント

■開催日／2016年7月12日(火) 18:00～

■開催場所／MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島 au WALLETパーティーフロア

会員の親睦行事として、カープ対ジャイアンツ戦を観戦しました。会員60人の熱い応援で13対3という大差でカープの大勝利! 暑い日を吹き飛ばす爽快な一日でした。カープはこのまままっしぐらにリーグ優勝に向かって突き進んでいきました。

(広報委員長 所感)





# 事務局からのお知らせ

■新入会員紹介 地域の発展および情報産業の発展を目指し、新入会員共々よろしくお願ひします。

**正会員**

**株式会社アプレット**  
代表取締役 福田 優

事業内容/コンピュータシステム開発、人材派遣、ITコンサルティング等に係る全般の業務。技術者不足の際には、グループ会社として東京や中国大連市の企業とも協力し合い、地元広島で地域密着型の業務運営をしています。



〒732-0057  
広島市東区二葉の里1-1-68 広島バレスビル4F  
TEL.082-568-6210 FAX.082-568-6240  
URL.<http://www.appletinc.co.jp/>  
E-mail.fukuda@appletinc.co.jp

**正会員**

**ABCインプローブ株式会社**  
代表取締役 朱本 正信

事業内容/IT技術者向け研修サービスを柱とし、新入社員研修、および個別研修を展開しております。また、「コトづくり」をテーマにしたシステム開発、ビジネスソリューション分野に取り組んでいます。



〒730-0043  
広島市中区富士見町11-6 エソール広島9F  
TEL.082-209-2611 FAX.082-230-1525  
URL.<http://www.abc-improve.com/index.html>  
E-mail.akemoto@abc-improve.com

**正会員**

**四凱ソフトジャパン株式会社**  
代表取締役 殷志峰

事業内容/広島・東京・中国四川を拠点としたソフトウェア開発、オフショア開発及び中国関係のビジネスを豊富の実績・リソース、そして長年の経験、自社の特徴、沢山の得意分野を持って、高品質のサービスを提供している。



〒730-0042  
広島市中区国泰寺町1丁目8番13号 あいおいニッセイ同和損保広島TYビル3F  
TEL.082-541-6822 FAX.082-243-5722  
URL.<http://www.skygp.co.jp/>  
E-mail.in-siho@skygp.co.jp

**正会員**

**株式会社ソルコム**  
IT事業本部 システムソリューションビジネス部 部長 藤村 顕由

事業内容/①サーバー、ネットワーク構築 ②セキュリティソリューション ③教育ソリューション ④環境・エネルギーソリューション ⑤オフィスまるごとソリューション ⑥ビルまるごとソリューション



〒730-0054  
広島市中区南千田東町2-32  
TEL.082-207-0707 FAX.082-255-1414  
URL.<http://www.solcom.co.jp/>  
E-mail.a-fujimura@net.solcom.co.jp

**正会員**

**株式会社広鉄計算センター**  
代表取締役社長 渡辺 泰朗

事業内容/総合病院様向けの病理検査システム「Dr.ヘルパー」の全国展開を図っております。また、官公庁や一般企業向けの大量データ入力から、パソコンベースのデータ入力まであらゆるニーズにもお応えいたします。



〒732-0052  
広島市東区光町2丁目6-34 広弘ビル4階  
TEL.082-263-3787 FAX.082-262-1685  
URL.<http://www.htkc.co.jp/>

**正会員**

**株式会社Fabric Arts**  
代表取締役 西坪 由起

事業内容/ホームページ制作を中心事業として創業。「当社だからこそできるサービスは何か」ということを常に模索しながら、Webサイトの制作からシステム構築、Web広告コンサルティング、複数のメディアを活用したクロスメディア戦略など独自に築き上げたノウハウと時代のニーズにフィットした提案により事業を拡大してまいりました。



〒730-0031  
広島市中区紙屋町2-1-22 広島興銀ビル9F  
TEL.082-246-9200 FAX.082-246-9202  
URL.<http://www.fabric-arts.co.jp>  
E-mail.contact@fabric-arts.co.jp

**賛助会員**

**株式会社セールスフォース・ドットコム**   
コマーシャル営業 執行役員 安田 大佑

事業内容/クラウド・ソーシャル・モバイルのテクノロジーを企業で活用するためのクラウドアプリケーション及びクラウドプラットフォームの提供

〒100-7012  
東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー12階  
URL.<https://www.salesforce.com/jp/>  
E-mail.Event-rgn@salesforce.com

**賛助会員**

**ダイワボウ情報システム株式会社**  
広島第1支店 支店長 後藤 和行

事業内容/弊社はIT関連商品の専門商社です。国内外約1,100社に及びメーカー様のIT関連商品の流通、導入、構築、保守等を通して、国内ITを支える総合ディストリビューターとして、情報化社会の発展に貢献いたします。



〒730-0015  
広島市中区橋本町10-6 広島NSビル9F  
TEL.082-511-7735 FAX.082-511-7740  
URL.<http://www.pc-daiwabo.co.jp/>  
E-mail.k-goto@pc-daiwabo.co.jp

**会員募集中** (一社)広島県情報産業協会は会員を募集しています。

**只今、入会キャンペーン開催中**  
2017年3月末までのお申込は入会金を無料に。  
まわりに情報産業の企業様がいっぱいありましたら、是非この機会にご入会いただきますようご紹介ください。  
入会に関するお問い合わせ、お申し込みは、お気軽に事務局までご連絡ください。

(一社)広島県情報産業協会 事務局  
TEL.082-242-7408 FAX.082-242-0668  
E-mail.jim@hia.or.jp

**HIAのホームページ**

**近日  
リニューアル予定!**

協会の活動内容やイベントの最新情報がより見やすくなります。是非アクセスしてください。



<http://www.hia.or.jp>